**Clinical Report（臨床報告）**

**和文タイトル（最大２行）〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇**

**English Title (Maximally 3 lines) o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o o**

**〇〇 〇〇〇**1**・森本 泰宏**2**・小野 堅太郎**3

Ooooo Ooo1, Yasuhiro Morimoto2, Kentaro Ono3

1〇〇歯科 (開業医), 県, 国（日本なら省略）. 2九州歯科大学歯科放射線学分野, 福岡. 3九州歯科大学生理学分野, 福岡

1Ooooo-Shika (Dental Office), Prefecture, Country. 2Division of Oral and Maxillofacial Radiology, Kyushu Dental University, Fukuoka. 3Division of Physiology, Kyushu Dental University, Fukuoka.

Corresponding: Ooooo Ooo (E-mail: ooooo@gmail.com)
2-6-1, Manazuru, Kukurakita-ku, Kitakyushu, Fukuoka 803-8580, Japan

〒803-8580 福岡県北九州市小倉北区真鶴2-6-1

Received: 10 May 2000 Accepted: 20 August 2000
Published online: 01 October 2000

**Abstract**

ooooooooooooo (Maximally 250 words) ooooooooooooooo oooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooo

**Key words:** ooooo, ooooo, ooooo, (Maximally 5)

**抄　録**

ああああ（最大６００字：句読点含む）あああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああ

**キーワード：**ああああ, ああああ（最大5個）

**緒　言**

　緒言では、対象の症例に関する背景や問題点などを適切な引用を行いながら説明してください。引用論文は和文でも英文でも構いません。文中での引用では、以下の例に倣い、文末の句点（。）の前に、論文最後の「引用文献」に羅列される文献番号を上付で行ってください。

　例）象牙質の増生に伴う歯髄腔の狭小化や根管の彎曲が挙げられる１）。

　九州歯科学会誌では、論文は本文内での引用順に番号を割り振ってください。校正の中で順番が変わることもありますので、論文提出の際には問題がないように確認してください。

　緒言の最後には、症例を発表する理由や意義を書いてください。

**症　例**

**患者**：〇歳代　男性・女性

**主訴**：〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

**現症**：〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

**既往歴**：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

**家族歴**：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

**口腔内所見**：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

**画像所見**：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

**診断**：項目は適宜増減させてください。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

**処置**：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

**経過**：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

**考　察**

　考察では新たな知見や介入した内容についてその妥当性を検討し、根拠を述べてください。いくつかの引用を提示して、既知であったことと本論文で新たに示せたことを的確に述べてください。

**結　論**

　端的に本論文での結論をまとめてください。抄録にまとめている文章とは必ず異なるものにしてください。

**謝　辞**

本論文に関して利益相反はない。

　症例報告に関して患者からインフォームドコンセントを得ている。

**引用文献**

1. 西田 郁子, 藤井 誠子, 森本 泰宏: 根未完成過剰埋伏歯に発症した象牙粒の一例. 九歯学会誌 76(3-4):66-69, 2022. https://doi.org/10.2504/kds.76.66
2. Ono K, Tanaka T, Inoue H, Ansai T, Sato-Wakasugi N, Muraoka K, Yokota M, Takehara N, Morimoto Y, Inenaga K. Small salivary gland size in patients with xerostomia of unknown etiology. Arch Oral Biol. 2009 Apr;54(4):369-73. http://doi.org/10.1016/j.archoralbio.2008.12.006
3. doi (Digital Object Identifier: 電子論文識別子)がある場合は必ず項目末に<http://doi.org/>をつけてdoiを書いてください。
4. 基本的には、学会HPにある引用文献書式を参考にしてください。

**筆頭筆者**

最終学歴：九州歯科大学（2000年卒）

顔写真

横2 cm

縦2.3 cm

博士号：博士（歯学）2000/03/31

（ない場合は「なし」と記述）

臨床経験：〇年

所属するスタディーグループなど

**〇出版サイズに図を調整してください。**

-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

横7.8 cmは変更できません。

**Figure 1**: An example of single column-sized figure and legend.

**図1：**一番小さい横幅の図表の例です。英文が好ましいですが、和文でも構いません。英文の場合の図内の説明はアルファベットおよび英単語で記述してください。

**Figure 2**: An example of single and half column-sized figure and legend.

**図2：**中程度横幅の図表の例です。英文が好ましいですが、和文でも構いません。英文の場合の図内の説明はアルファベットおよび英単語で記述してください。

横12.7 cmは変更できません。

**Figure 3**: An example of double column-sized figure and legend.

**図3：**一番大きい横幅の図表の例です。英文が好ましいですが、和文でも構いません。英文の場合の図内の説明はアルファベットおよび英単語で記述してください。

横16.5 cmは変更できません

図説（ledends）の部分をコピーして、ご自身の図表画像の横に配置してください。図説のフォントサイズは9ptです。図表の詳細な規定書式についてはHPの情報を参照してください。